

講義コード	1012305
講義名	フランス語 I
(副題)	French I
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	4
代表曜日	火曜日
代表時間	3 時限
開講時期	1年前期
必修・選択区分	選択必修

担当教員

職種	氏名
教授	大谷孝行

授業の概要

フランス語が使われている国は、フランス以外にも、ベルギー、スイス、カナダ、アフリカ諸国等、たくさんあります。英語以外にももう1か国語学ぶことで、あなたの視野は確実に広がるでしょう。この授業では、初めてフランス語を学ぶ人を対象に、フランス語のアルファベットからスタートし、順次フランス語の文章の仕組みを学習していきます。フランス語は発音が少し難しいので、つづりの読み方や発音の仕方には特に注意を払って勉強します。また、映像によってパリの各所を訪問してその魅力を探ります。

キーワード①

発音

キーワード②

初級文法

キーワード③

初級会話

キーワード④

パリ

到達目標

到達目標①	①フランス語の綴りを発音できる。(20%)
到達目標②	②フランス語の簡単な文章の構造を理解でき、簡単な文章を「読み、書き、話し、聞く」ことができる。(70%)

到達目標③	③フランスの首都パリの特色（観光名所、歴史的建築物など）を学び、他者に説明することができる。(10%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
-------------	-------	-----	-------	-------	--------	---------------

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現②国際人としての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現②国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
◎	○			

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎	◎	◎			

授業計画表

第1回	【授業内容】	フランス語のアルファベ フランス語のアルファベの発音を学び、自分の名前の綴りをアルファベで言ってみる。
	(事前・事後学習)	[復習] アルファベを暗唱できるようにしておく。

	(事前・事後学習時間)	30分
第2回	【授業内容】	会話「こんにちは」、「はじめまして」。 フランス語で簡単なあいさつをしてみる。
	(事前・事後学習)	[復習] 簡単なあいさつ表現の暗唱。
	(事前・事後学習時間)	30分
第3回	【授業内容】	名詞の性と数 名詞の男性名詞と女性名詞、単数形と複数形について。数詞の1～10まで。
	(事前・事後学習)	[復習] 男性形と女性形についての復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第4回	【授業内容】	会話「切符を買う」。冠詞 不定冠詞と定冠詞について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 名詞の数と性に応じた冠詞の使い分けを復習しておく。
	(事前・事後学習時間)	30分
第5回	【授業内容】	会話「切符を買う」。動詞êtreと強勢人称代名詞 英語のbe動詞にあたる動詞êtreについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 動詞êtreの活用を暗唱し、書けるようにしておく。
	(事前・事後学習時間)	30分
第6回	【授業内容】	動詞êtreと強勢人称代名詞 動詞êtreと強勢人称代名詞を使ったやや難しい表現。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 強勢人称代名詞の種類と用法についての復習。
	(事前・事後学習時間)	30分

第7回

	【授業内容】	会話「どこにお住まいですか？」 第1群規則動詞（er動詞）について。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 第1群規則動詞（er動詞）の活用を暗唱し、書けるようにしておく。
	(事前・事後学習時間)	30分
第8回	【授業内容】	会話「どこにお住まいですか？」 動詞avoirについて。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 動詞avoirの活用を暗唱し、書けるようにしておく。
	(事前・事後学習時間)	30分
第9回	【授業内容】	指示形容詞。avoirを使った慣用表現 「この、その、あの～」という表現。avoirを使った様々な表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 指示形容詞の種類と用法についての復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第10回	【授業内容】	会話「小銭を持っていません」 否定文の作り方。数えられない名詞につく部分冠詞。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 否定文の作り方についての復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第11回	【授業内容】	会話「小銭を持っていません」 否定文に使われるde。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 否定文に使われるdeについての復習。

	(事前・事後学習時間)	30分
第12回	【授業内容】	所有形容詞。様々な否定表現 「私の～、君の～」という表現。様々な否定表現を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 所有形容詞の種類と用法についての復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第13回	【授業内容】	基本数詞 1～100までの数詞を学ぶ。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 基本数詞の暗唱。
	(事前・事後学習時間)	30分
第14回	【授業内容】	総復習(1) これまでの授業を振返って復習をします。 授業の冒頭で、前回学習した内容の小テストを行います。テスト結果は採点したうえで、次回授業で返却します。
	(事前・事後学習)	[復習] 授業内容の復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第15回	【授業内容】	総復習(2) これまでの授業を振返って復習をします。
	(事前・事後学習)	[復習] 授業内容の復習。
	(事前・事後学習時間)	30分
第16回	【授業内容】	中間試験
	(事前・事後学習)	
	(事前・事後学習時間)	
評価方法		

到達目標 1 については、期末筆記テストで評価します。(20%)

到達目標 2 と 3 については、期末筆記テスト(80%)で評価します。

なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価します。

ディプロマポリシー配分比率

ディプロマポリシー配分比率	
人間性の向上 (DP1)	0%
専門性の向上 (DP2)	60%
社会性の向上 (DP3)	40%

使用資料<テキスト>

田村弘行『フランス語で<ようこそ>』三修社。

使用資料<参考図書>

授業中に隨時紹介します。

授業外学修等

毎回、授業の開始時に、前回授業の内容について小テストを行います。したがって、前回の授業を復習して授業に臨むことが必須です。

テキストの録音音声を各自が必ずダウンロードして、復習に役立ててください。

授業外質問方法

オフィスアワー時に直接質問を受けます。

オフィス・アワー

月曜日 4限、324研究室。

講義コード	1012311
講義名	住環境デザイン I
(副題)	Living Environment Design I
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	火曜日
代表時間	3 時限
開講時期	2年前期
必修・選択区分	選択

担当教員

職種	氏名
教授	川本聖一

授業の概要

本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザインⅠ」「住環境デザインⅡ」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。

その中で、「住環境デザインⅠ」と「住環境デザインⅡ」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。

「住環境デザインⅠ」では、私たちの生活と住まい、インテリアコーディネート、住まいの歴史を中心に学ぶ。

また、インテリアコーディネート実務者によるプレゼンテーション実習を予定している。

(担当教員：企業での実務経験豊富)

(関連SDGs：目標7、目標11、目標12)

キーワード①

生活と住まい

キーワード②

色彩と造形

キーワード③

家具の設計

キーワード④

インテリアエレメント

キーワード⑤

住まいの歴史

到達目標

到達目標 ①	① 私たちの生活と住まいの関係性を説明できる。 (30%)
到達目標 ②	② 家具、インテリアエレメントに関するデザイン基礎の基礎に関し説明できる。 (30%)
到達目標 ③	③ 住まいの歴史の概要を説明できる。(40%)
到達目標 ④	
到達目標 ⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
						—

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現③スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
○		○		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○	○			

授業計画表

第1回	【授業内容】	ガイダンス
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第2回	【授業内容】	私たちのくらし（1）
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第3回	【授業内容】	私たちのくらし（2）
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第4回	【授業内容】	色彩の基礎
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第5回	【授業内容】	色彩計画と造形
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。

	習)	ト」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第6回	【授業内容】	家具の種類と構造
	(事前・事後学習)	【予習】Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第7回	【授業内容】	家具の生産
	(事前・事後学習)	【予習】Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第8回	【授業内容】	人間工学と椅子の設計
	(事前・事後学習)	【予習】Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第9回	【授業内容】	インテリアエレメント
	(事前・事後学習)	【予習】Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。【復習】講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分

	時間)	
第10回	【授業内 容】	日本の住まいの歴史（1）
	(事前・ 事後学 習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・ 事後学習 時間)	30分
第11回	【授業内 容】	日本の住まいの歴史（2）
	(事前・ 事後学 習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・ 事後学習 時間)	30分
第12回	【授業内 容】	インテリアコーディネート実習
	(事前・ 事後学 習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。 インテリアコーディネート実習では、各自が作成したインテリアコーディネートボードを、実務で活躍しているインテリアコーディネーターに来てもらい評価会を行う。受講者はこの時までに、インテリアコーディネートボードを作成する必要がある。
	(事前・ 事後学習 時間)	150分
第13回	【授業内 容】	世界の住まい（1）
	(事前・ 事後学 習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・ 事後学習 時間)	30分

第14回	【授業内容】	世界の住まい（2）
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分
第15回	【授業内容】	現代の住まい
	(事前・事後学習)	[予習] Web Classで授業内容を配信するので、目を通しておく。 [復習] 講義内容を踏まえ、「必修レポート」「自由レポート」「復習レポート」を作成し、次回の講義の初めに代表者が作成したレポートをプレゼンテーションする。
	(事前・事後学習時間)	30分

評価方法

到達目標について、「富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕」に従った観点から評価する。毎回の講義の終わりに行う「ミニテスト」（約50%）、全員が提出すべき「必修レポート」（「復習レポート」を含む）、各自興味がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」、調べたことを全員の前で発表する「プレゼンテーション」（ミニテスト以外約50%）の4項目で評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。

ディプロマポリシー配分比率

ディプロマポリシー配分比率	
人間性の向上（DP1）	20%
専門性の向上（DP2）	70%
社会性の向上（DP3）	10%

使用資料<テキスト>

オリジナルプリントを配布

各自フォルダーを用意して配布されたプリントをストックできるように準備すること。

使用資料<参考図書>

授業の内容はWeb Class上にアップするので、予習・復習に活用することができる。

授業外学修等

授業以外に、自ら調べてそれを自分の言葉でまとめる作業を、ほぼ毎回宿題として出題する。

全員が提出すべき「必修レポート」、過去の講義内容を復習する「復習レポート」、各自興味

がある項目を深く掘り下げる「自由レポート」がある。

授業外質問方法

オフィスアワーを中心に随時研究室にて質問を受け付ける他、メール、Web Classにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールにて行うことを希望する。

メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp

オフィス・アワー

水曜日 1 時限 (9:00~10:30) 研究室 (439室) にて

講義コード	1013204
講義名	住環境デザイン演習
(副題)	Living Environment Design Practicum
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	演習
基準単位数	2
代表曜日	水曜日
代表時間	2 時限
開講時期	3年前期
必修・選択区分	選択

担当教員

職種	氏名
教授	川本聖一

授業の概要

本学の住環境分野に関する授業は、「住環境デザインⅠ」「住環境デザインⅡ」「住環境デザイン演習」「都市空間デザイン」である。

その中で、「住環境デザインⅠ」と「住環境デザインⅡ」では、2つの講義を通して住環境に係わる職業人としての一般常識の習得と、「インテリアコーディネーター試験」などの住環境関連資格取得のための基礎知識習得を目指している。2つの講義を通して学んだ知識を基本に、「住環境デザイン演習」では、研究や実務に必要なプレゼンテーション手法に関して学習する。

また、クライアントからのヒアリング能力、クライアントとのコミュニケーション能力を養う。

各課題終了時に評価会を行う。内容は、一般的な図面や絵を使ってプレゼン能力を養うものであるため、「住環境デザインⅠ・Ⅱ」を受講していなくても構わない。

単に出席していても意味がなく、各課題の提出とプレゼンテーションの実行を確実に行わなければならない。

(担当教員：企業での実務経験豊富)

(関連SDGs：目標7、目標11、目標12)

キーワード①

プレゼンテーション

キーワード②

設計製図

キーワード③

C A D

キーワード④

インテリアの設計

キーワード⑤

住宅の設計

到達目標

到達目標 ①	①アパートや住宅の企画をグループ内でコミュニケーションをとりまとめることができる。 (30%)
到達目標 ②	②アパートや住宅の要望を整理して自分の企画を立てることができる。 (30%)
到達目標 ③	③自分が作成した企画を有効にプレゼンテーションできる。(40%)
到達目標 ④	
到達目標 ⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
						—

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現③スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑧環境デザインに関する専門性の向上	現⑩専門性をさらに高める実習・演習

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
○	○	○		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・

					自主活動
△	◎	◎	○		○
授業計画表					
第1回	【授業内容】	ガイダンス ／ 用具の使用方法と線の引き方			
	(事前・事後学習)	[復習] 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。			
	(事前・事後学習時間)	30分			
第2回	【授業内容】	図面のトレースと着彩 ／ CAD演習			
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。			
	(事前・事後学習時間)	30分			
第3回	【授業内容】	住宅平面図 ／ CAD演習			
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。			
	(事前・事後学習時間)	30分			
第4回	【授業内容】	住宅立面図 ／ CAD演習			
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。			
	(事前・事後学習時間)	30分			
第5回	【授業内容】	パースの作成演習 ／ CAD演習			
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。			
	(事前・事後学習時間)	30分			

第6回	【授業内容】	プライベートルームの企画立案（グループワーク）
	(事前・事後学習)	[復習] 毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第7回	【授業内容】	プライベートルームの設計 1
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第8回	【授業内容】	プライベートルームの設計 2
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第9回	【授業内容】	プライベートルームの設計 3
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第10回	【授業内容】	プライベートルームの設計評価会
	(事前・事後学習)	[予習] プライベートルームプレゼンテーションの準備 [復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	120分
第11回	【授業内容】	住宅計画の企画立案（グループワーク）
	(事前・事後学習)	[復習] 每回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。

	(事前・事後学習時間)	30分
第12回	【授業内容】	住宅設計演習 1
	(事前・事後学習)	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第13回	【授業内容】	住宅設計演習 2
	(事前・事後学習)	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第14回	【授業内容】	住宅設計演習 3
	(事前・事後学習)	【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	30分
第15回	【授業内容】	住宅設計評価会
	(事前・事後学習)	【予習】住宅設計プレゼンテーションの準備 【復習】毎回の演習の中で出題された課題を次回の演習までに終了する必要がある。時間内に終了しない場合は宿題となる。
	(事前・事後学習時間)	120分
第16回	【授業内容】	住宅設計評価会 2 (評価会未修了者、評価会欠席者対象)
	(事前・事後学習)	
	(事前・事後学習時間)	

評価方法

到達目標について、「富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕」に従った観点から評価する。作成された作品（約50%の評価）とプレゼンテーション（約50%の評価）を学生が相互に評価した結果に基づいて評価する。頑張った人には、頑張った分に応じて高い評価をする方針である。

ディプロマポリシー配分比率

ディプロマポリシー配分比率	
人間性の向上（DP1）	15%
専門性の向上（DP2）	60%
社会性の向上（DP3）	25%

使用資料＜テキスト＞

オリジナルプリントを配布

各自フォルダーを用意して配布されたプリントをストックできるように準備すること。

CADを用いて図面を作成するため、原則として各自PCを持参すること。

使用資料＜参考図書＞

授業の内容はWeb Class上にアップするので、予習・復習に活用することができる。

授業外学修等

各課題を授業中に完成できない者は、授業以外に時間を作り課題を完成する必要がある。

授業外質問方法

オフィスアワーを中心に隨時研究室にて質問を受け付ける他、メール、Web Classにて対応する。遅刻や欠席の連絡は事前にメールにて行うことを希望する。

メールアドレス : kawamoto@tuins.ac.jp

オフィス・アワー

水曜日 1 時限（9：00～10：30） 研究室（439室）にて

講義コード	1014103
講義名	情報システム論
(副題)	Information Systems
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時間	1 時限
開講時期	2年前期
必修・選択区分	専攻必修

担当教員

職種	氏名
教授	新森昭宏

授業の概要

情報システム論では、国家試験である「ITパスポート試験」の「テクノロジ系」基礎理論分野を中心に「情報システム」について学習する。「テクノロジ系」技術要素分野については「情報技術論」にて、「ストラテジ系」と「マネジメント系」については「情報マネジメント論」で学習する。つまり、「情報マネジメント論」「情報システム論」「情報技術論」の3科目で、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識を網羅することになる。

(担当教員：企業での実務経験あり)

キーワード①

離散数学

キーワード②

アルゴリズム

キーワード③

コンピュータ

キーワード④

ソフトウェア

キーワード⑤

ハードウェア

到達目標

到達目標①	① 「ITパスポート試験」シラバス（Ver.6.3）の「テクノロジ系」（基礎理論、コンピュータシステム）に記載されている用語例について理解している。（40%）
-------	---------------------------------------------------------------------------------

到達目標②	②用語例について、具体例を挙げて説明できる。(30%)
到達目標③	③「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準60%以上正解できる。(30%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
						—

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現③スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	現⑨経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		◎		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎					

授業計画表

第1回	【授業内容】	情報システムとは ・授業の進め方の解説 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小
------------	---------------	--------------------------------------------------------------------

		テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] シラバスを読んでおく。 [復習] 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第2回	【授業内容】	基礎理論①（数値の考え方） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「09-01 数値の考え方」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第3回	【授業内容】	基礎理論②（集合と論理演算、データの単位） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「09-02 集合と論理演算」「09-03 データの単位」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第4回	【授業内容】	基礎理論③（データ構造、アルゴリズムとフローチャート、コンピュータ言語） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「09-04 データ構造」「09-05 アルゴリズムとフローチャート」「09-06 コンピュータ言語」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分

	【授業内容】	基礎理論④（プログラミング①基礎知識、プログラミング②選択処理と繰り返し処理、プログラミング③関数） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第5回	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「09-07 プログラミング①基礎知識」、「09-08 プログラミング②選択処理と繰り返し処理」、「09-09 プログラミング③関数」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
	【授業内容】	コンピュータシステム①（処理形態によるシステムの分類、利用形態やシステム構成による分類） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第6回	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「10-01 処理形態によるシステムの分類」、「10-02 利用形態やシステム構成による分類」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
	【授業内容】	コンピュータシステム②（ハードディスクの多重化、システムの評価指標） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
第7回	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「10-03 ハードディスクの多重化」、「10-04 システムの評価指標」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
	【授業内容】	コンピュータシステム③（システムの信頼性、直列システムと並列システム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小

		テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「10-05 システムの信頼性」、「10-06 直列システムと並列システム」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第9回	【授業内容】	これまでの復習と中間試験を行う。
	(事前・事後学習)	[予習] テキストを再確認し、試験準備しておく。 [復習] 中間試験結果を確認しておく。
	(事前・事後学習時間)	90分
第10回	【授業内容】	ハードウェア① (コンピュータの種類、コンピュータの5つの役割) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「11-01 コンピュータの種類」、「11-02 コンピュータの5つの役割」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第11回	【授業内容】	ハードウェア② (演算と制御、記憶) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「11-03 演算と制御」、「11-04 記憶」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第12回	【授業内容】	ハードウェア③ (入力と出力、入出力インターフェース) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小

		テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「11-05 入力と出力」、「11-06 入出力インターフェース」を読んで学習する。 [復習] 授業で学んだ練習問題を再確認しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第13回	【授業内容】	ソフトウェア① (OSの役割と4つの機能、データ管理とファイルシステム、バックアップ、アプリケーションソフトウェア) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「12-01 OSの役割と4つの機能」、「12-02 データ管理とファイルシステム」、「12-03 バックアップ」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第14回	【授業内容】	ソフトウェア② (アプリケーションソフトウェア、情報デザインとソフトウェアの権利) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキスト「12-04 アプリケーションソフトウェア」、「12-05 情報デザインとソフトウェアの権利」を読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第15回	【授業内容】	全体復習 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] これまでに読んできたテキストを復習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。期末試験に向けた学習を行う。
	(事前・事後学習時間)	90分

評価方法

中間試験(45%)、期末試験(50%)、数回の授業で課す課題(5%)にて評価する。

出席確認 = Microsoft Formsを使った小テストに回答することで自動確認 ⇒ 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。

「富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕」に従って評価する。

ディプロマポリシー配分比率

ディプロマポリシー配分比率	
人間性の向上 (DP1)	10%
専門性の向上 (DP2)	80%
社会性の向上 (DP3)	10%

使用資料<テキスト>

高橋 京介著、「いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集」（令和6年[2024年]版），SBクリエイティブ，1,738円(税込)

使用資料<参考図書>

授業で説明に使ったスライドを配布する。

授業外学修等

- ・テキスト該当部分を参照し、必ず予習をすること。
- ・授業で説明した内容の理解を深め、記憶を定着させるためにも復習をすること。

授業外質問方法

質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。

メールアドレスは、大学ホームページ（教員紹介ページ）を参照してください。

オフィス・アワー

月曜日1限、研究室

講義コード	1015104
講義名	情報ネットワーク論
(副題)	Information Networks
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	金曜日
代表時間	1 時限
開講時期	3年前期
必修・選択区分	選択

担当教員

職種	氏名
准教授	越智士郎

授業の概要

情報社会において情報ネットワークは社会的な基盤としての役割を担っている。情報ネットワークを利用した様々なサービスやユースケースについて学ぶ。さらに、情報ネットワークを支える要素技術やプロトコルについて学習する。学習する範囲はITパスポート試験の上位試験である基本情報技術者試験の内容を含んでいる。（担当教員：企業での実務経験有り）

キーワード①

①ネットワーク

キーワード②

②コンピュータ

キーワード③

③セキュリティ

到達目標

到達目標 ①	①情報ネットワークを利用した様々な技術、サービスについて説明できる(40%)
到達目標 ②	②インターネットの仕組みと、それを支える種々の技術について理解できる(30%)
到達目標 ③	③インターネットプロトコルの階層構造を説明できる(30%)
到達目標 ④	

到達目標	(5)
-------------	-----

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
-------------	-------	-----	-------	-------	--------	---------------

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現③スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	現⑨経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
	○	○		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○				

授業計画表

第1回	【授業内容】	授業の進め方の解説 および コンピュータ・ネットワークについて
	(事前・事後学習)	[予習] シラバスを確認する。
	(事前・事後学習時間)	10分
第2回	【授業内容】	コンピュータ・ネットワークとは

	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] コンピュータ・ネットワーク発展の流れが説明できるか確認してみる。
	(事前・事後学習時間)	60分
第3回	【授業内容】	Webサービス(1)
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] Webサービスの種類、形態、Webサービスの要素技術について説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第4回	【授業内容】	Webサービス(2)
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] Webサービスを支える技術の概要 (プロトコル、html、css、JavaScript、出たベース、暗号化等) について説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第5回	【授業内容】	電子メール
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 電子メールの仕組み、運用形態、電子メールの要素技術 (プロトコル等) 、ソフトウェアでの設定方法など説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第6回	【授業内容】	クラウド(ストレージ)
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] クラウドサービスの仕組み、運用形態、ソフトウェア(OneDrive、GoogleDrive等)での設定方法など説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第7回	【授業内容】	クラウド(コンピューティング)

	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] クラウドサービス（コンピューティング）の運用形態、利用方法など説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第8回	【授業内容】	ネットワークの構成要素、構成機器について
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] ネットワークを構成する通信機器にどのようなものがあるか、また、その役割が説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第9回	【授業内容】	TCP/IP基礎知識（階層モデル、MACアドレス、イーサネット）
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] TCP/IPのなりたち、仕組みの概要について説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第10回	【授業内容】	無線通信技術（Wifi、5G、LPWA、公衆アクセス網など）
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 無線通信技術の概要、運用形態、ユースケースについて説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第11回	【授業内容】	IoTネットワークとビッグデータ
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] IoTネットワークとビッグデータの概要、運用形態、ユースケースについて説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第12回	【授業内容】	メタバース

	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] メタバースの概要、運用形態について説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第13回	【授業内容】	ブロックチェーン、NFT
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] ブロックチェーンとNFTの仕組み、運用形態、ユースケースについて説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第14回	【授業内容】	ネットワークのセキュリティについて
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] ネットワークのセキュリティを構成する要素（ファイアウォール、VPN、OSやファームウェアの脆弱性、ウィルスチェックソフト等）について説明できるか確認する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第15回	【授業内容】	Society5.0（振り返りを含む）
	(事前・事後学習)	[予習] 講義資料の該当箇所を確認する。 [復習] 講義資料や各回で行った確認テストを振り返り期末テストに備える。
	(事前・事後学習時間)	60分

評価方法

定期試験(30%)および各回で配布する小テスト、課題の提出(70%)
富山国際大学成績評価基準〔全教科用〕に従って評価する。

ディプロマポリシー配分比率

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	20%
専門性の向上（DP2）	50%
社会性の向上（DP3）	30%

使用資料<テキスト>

講義資料を配布する。

使用資料<参考図書>

竹下 隆史著：『マスタリングTCP/IP 入門編 第6版』

<http://www5e.biglobe.ne.jp/aji/3min/>

授業外学修等

講義資料を復習することが望ましい。

授業外質問方法

情報共有ツール(Teams)やメール(ochi@tuins.ac.jp)の利用、研究室を直接訪問するなど、気軽にお問い合わせください。

オフィス・アワー

木曜2限@423研究室

講義コード	1014407
講義名	情報マネジメント論
(副題)	Information Management
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時間	4 時限
開講時期	2年前期
必修・選択区分	選択

担当教員

職種	氏名
教授	新森昭宏

授業の概要

情報マネジメント論では、国家資格である「ITパスポート試験」の「ストラテジ系」と「マネジメント系」の対象範囲を学習する。なお、「テクノロジ系」は「情報システム論」と「情報技術論」で学習する。つまり、「情報マネジメント論」「情報システム論」「情報技術論」の3科目で、「ITパスポート試験」の受験に必要な知識を網羅することになる。

(担当教員：企業での実務経験あり)

キーワード①

技術戦略

キーワード②

システム戦略

キーワード③

開発技術

キーワード④

プロジェクトマネジメント

キーワード⑤

システム監査

到達目標

到達目標①	① 「ITパスポート試験」シラバス（Ver.6.3）の「ストラテジ系」と「マネジメント系」に記載されている用語例について理解している。(40%)
-------	--------------------------------------------------------------------------

到達目標②	②用語例について、具体例を挙げて説明できる。（30%）
到達目標③	③「ITパスポート試験」の過去問や模擬問題を、合格基準70%以上正解できる。（30%）
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
						—

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現③スペシャリストとしての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現⑤専門分野に共通する基礎知識の向上	現⑨経営情報に関する専門性の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
		◎		

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
◎					

授業計画表

第1回	【授業内容】	ITパスポート試験の概要 企業活動①（株式会社と経営理念、企業の責任、経営資源、経営組織）
	(事前・事後学)	[予習] シラバスとテキストの序章から01-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直してお

	習)	<。
	(事前・事後学習時間)	60分
第2回	【授業内容】	企業活動②（業務分析と業務計画、経営者の意思決定と問題解決手法、損益分岐点、財務諸表と6つの利益） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの01-05から01-08までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第3回	【授業内容】	法務①(3つの知的財産権、産業財産権とその他の権利、セキュリティ関連法規) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの02-01から02-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第4回	【授業内容】	法務②（労働関連法規と取引関連法規、その他の法律、標準化） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの02-04から02-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第5回	【授業内容】	経営戦略マネジメント（経営戦略とSWOT分析、PPM、経営戦略に関する重要用語、事業戦略と経営管理システム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)

	(事前・事後学習)	[予習] テキストの03-01から03-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第6回	【授業内容】	技術戦略マネジメント①（技術開発戦略の立案・技術開発計画、ビジネスシステム、エンジニアリングシステム） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの04-01から04-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第7回	【授業内容】	技術戦略マネジメント②(生産管理の計算問題、e-ビジネス、IoTシステム・組み込みシステム) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの04-04から04-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第8回	【授業内容】	前半のまとめ 中間試験
	(事前・事後学習)	[予習] これまで説明した事項とテキストを復習する。 [復習] 中間試験において、間違った部分を復習する。
	(事前・事後学習時間)	60分
第9回	【授業内容】	システム戦略①（情報システム戦略、業務プロセス、業務プロセスを改善する方法、ソリューションビジネス） (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)

	(事前・事後学習)	[予習] テキストの05-01から05-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第10回	【授業内容】	システム戦略②(システムの活用促進と評価、システム企画、企画プロセスと要件定義プロセス、調達計画・実施) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの05-05から05-08までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第11回	【授業内容】	開発技術① (システム開発技術、システム要件定義、システム設計、プログラミング) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの06-01から06-04までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第12回	【授業内容】	開発技術②(テストとソフトウエア受入れ、運用プロセスと保守プロセス、ソフトウエアの開発モデル) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)
	(事前・事後学習)	[予習] テキストの06-05から06-07までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。
	(事前・事後学習時間)	60分
第13回	【授業内容】	プロジェクトマネジメント(プロジェクトマネジメントと3つの制約、PMBOKとは、プロジェクトスケジュールマネジメント、プロジェクト資源

		<p>マネジメント、プロジェクトコミュニケーションマネジメント、プロジェクトリスクマネジメント) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)</p>
	(事前・事後学習)	<p>[予習] テキストの07-01から07-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>
	(事前・事後学習時間)	60分
第14回	【授業内容】	<p>サービスマネジメントとシステム監査①(サービスマネジメントとITIL、SLMと可用性管理、サービスサポート) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)</p>
	(事前・事後学習)	<p>[予習] テキストの08-01から08-03までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>
	(事前・事後学習時間)	60分
第15回	【授業内容】	<p>サービスマネジメントとシステム監査② (ファシリティマネジメント、システム監査、内部統制) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う。結果はすぐに自己確認できる。小テスト実施後に解説を行う。)</p>
	(事前・事後学習)	<p>[予習] テキストの08-04から08-06までを読んで学習する。 [復習] 授業で説明したスライドとテキストを再確認し、小テスト結果を見直しておく。</p>
	(事前・事後学習時間)	60分
評価方法		
中間試験(45%)、期末試験(50%)、数回の授業で課す課題(5%)にて評価する。		
出席確認 = Microsoft Formsを使った小テストに回答することで自動確認 ⇒ 欠席が3分の1を超える学生は、評価対象外。		
「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。		
ディプロマポリシー配分比率		

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上（DP1）	10%
専門性の向上（DP2）	80%
社会性の向上（DP3）	10%

使用資料 <テキスト>

高橋 京介著、「いちばんやさしいITパスポート 絶対合格の教科書+出る順問題集」（令和6年[2024年]版），SBクリエイティブ

使用資料 <参考図書>

授業で説明に使ったスライドを配布する。

授業外学修等

- ・テキスト該当部分を参照し、必ず予習をすること。
- ・授業で説明した内容の理解を深め、記憶を定着させるためにも復習をすること。

授業外質問方法

質問等は、メールを利用するか、授業の前後やオフィスアワーなどに直接声をかけてください。

メールアドレスは、大学ホームページ（教員紹介ページ）を参照してください。

オフィス・アワー

月曜日1限、研究室

講義コード	1024206
講義名	多文化共生論
(副題)	Multiculturalism
開講責任部署	現代社会学部現代社会学科
講義開講時期	前期
講義区分	講義
基準単位数	2
代表曜日	木曜日
代表時間	3 時限
開講時期	3年前期
必修・選択区分	専攻必修

担当教員

職種	氏名
准教授	石渡華奈

授業の概要

The term “Tabunka Kyōsei” used in the course title was coined in Japan and originated in Kawasaki City, Kanagawa Prefecture. In January 1993, the keyword “Tabunka Kyōsei” first appeared in a Japanese newspaper. In January 1995, the Great Hanshin-Awaji Earthquake affected the Kansai area, and to provide support to foreign residents, the Center for Tabunka Kyōsei was established, in whose prospectus the following is stated:

Based on the “Tabunka Kyōsei” philosophy that transcends differences in nationality, culture, language, etc., and promotes mutual respect, the Center aims to create and implement projects for “Tabunka Kyōsei” for both foreign and Japanese residents in Japan.’

In this course, following this philosophy, we will consider and acquire the knowledge and methods of communication for people with different roots, cultural backgrounds, languages, genders, values, etc., to mutually understand, respect, and live together.

All lessons are conducted in English, and emphasis is placed on deepening reflection through active discussion among students rather than imparting knowledge from the instructor.

キーワード①

Intercultural Cohesion

キーワード②

Diversity

キーワード③

Discrimination

キーワード④

Equity

到達目標

到達目標①	1. To be able to explain what "Tabunka Kyōsei" means. (40%)
到達目標②	2. To be able to explain the current status and challenges of Tabunka Kyōsei society that Japan is facing and you are facing. (30%)
到達目標③	3. To obtain the improved ability to think in terms of diversity, discrimination, and equity. (30%)
到達目標④	
到達目標⑤	

卒業要件・資格関連など

卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	社会福祉主事	スクールソーシャルワーカー
						—

ディプロマポリシー

ディプロマポリシー①	ディプロマポリシー②
現②国際人としての能力（専門性の向上）	

カリキュラムポリシー

カリキュラムポリシー①	カリキュラムポリシー②
現②国際人に必要な外国語能力の向上	

キー・コンピテンシー（重視する能力）

コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
◎	○	◎	○	

教授方法（授業方法）

知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
○	◎		○		

授業計画表

第1回	【授業内容】	Guidance (Explanation of the outline, the goals, the weekly schedules, the evaluation methods, etc.) Introduction to Tabunka Kyōsei (Intercultural Cohesion)
	(事前・事後学習)	[予習] N/A [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson.
	(事前・事後学習時間)	45分
第2回	【授業内容】	Part 1 Consider Diversity 1. Intercultural Social Skills Students will learn that diverse and characteristic “social skills” are required for communication in different regions, countries, and cultures. They will also learn that each person has their own culture, and therefore, the way of communication is different even in the same culture area. They will think about how to live well together when moving to a new environment or accepting new people.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 1 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第3回	【授業内容】	Part 1 Consider Diversity 2. Tolerance Students will seek their own answers to what it means to be “tolerant”, “open-minded”, and “generous”. They will also consider the balance between what should and should not be “tolerated”.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 2 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have

	後学習)	learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第4回	【授業内容】	Part 1 Consider Diversity 3. Assertion Training Students will consider and understand their communication type objectively. They will learn what “assertive” communication is and how they can convey their ideas and emotions to others. They will become able to communicate assertively when necessary.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 3 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第5回	【授業内容】	Part 1 Consider Diversity 4. Cross-cultural Contact in Business Students will gain an opportunity to think about cross-cultural friction in business settings. They will learn that there are various evaluation methods and criteria and ideal personas for leaders. They will also learn how to deal with their feelings when they feel something is going wrong.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 4 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第6回	【授業内容】	Part 1 Consider Diversity 5. Japanese and Foreigners Students will reconsider the terms “Japanese” and “foreigners” and understand their diversity and complexity. They will learn the concept of “third-party response” and recognize how unreasonable it is in light

	<p>of their own experiences. They will also learn that “foreigners”, as well as “gaijin”, can cause displeasure to others.</p>
(事前・事後学習)	<p>[予習] Read Chapter 5 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
(事前・事後学習時間)	90分
第7回	<p>【授業内容】 Part 2 Consider Discrimination and Emotions 1. Microaggression Students will realize that what we say and do without thinking carefully can be hurtful to others. By learning about microaggressions, they will raise their awareness of their own words and actions. They will think about how to eliminate microaggressions.</p>
	<p>[予習] Read Chapter 7 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
	90分
第8回	<p>【授業内容】 Part 2 Consider Discrimination and Emotions 2. Minority and Majority Students will learn that “majority” and “minority” are not absolute but relative. Those in the “majority” position will be able to be thoughtful of those in the “minority” position. Students will become willing to listen to voices that are often silenced in society.</p>
	<p>[予習] Read Chapter 8 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
	90分
第9回	<p>【授業内容】 Part 2 Consider Discrimination and Emotions 3. Universal Design Students will become aware of inconveniences in society that they do</p>

	<p>not notice when they belong to the majority or when they are not in trouble. They will gain imagination and consideration for people in different positions and situations from themselves. They will be able to see universal design as something close to them and look for opportunities to do something they can do.</p>
	<p>(事前・事後学習) [予習] Read Chapter 9 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
	<p>(事前・事後学習時間) 90分</p>
第10回	<p>【授業内容】 Part 2 Consider Discrimination and Emotions 4. Stereotypes Students become aware of the irrationality and risks of the common phrases they hear every day, such as “people from Country A are X”, “that person is Y because he lives in B Prefecture”, and “men are always Z”. Students will learn about the concepts of stereotypes and essentialism.</p>
	<p>(事前・事後学習) [予習] Read Chapter 11 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
	<p>(事前・事後学習時間) 90分</p>
第11回	<p>【授業内容】 Part 3 Consider Language Equity 1. Language Acquisition of Children Across Borders Students will understand that there are people who are struggling with language and culture without being known. They will learn that there are cases where their nationalities, mother tongues, cultures, etc. cannot be simply dealt with within a fixed framework.</p>
	<p>(事前・事後学習) [予習] Read Chapter 13 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.</p>
	<p>(事前・事後学習時間) 90分</p>

	後學習 時間)	
第12回	【授業 内容】	Part 3 Consider Language Equity 2. Easy Japanese Students will learn the concept of “easy Japanese (Yasashii Nihongo)” They will learn the key translation points into “easy Japanese” and actually translate some sentences. They will realize that “easy Japanese” is beneficial not only for non-native speakers and learners of Japanese but also for native speakers of Japanese.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 14 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第13回	【授業 内容】	Part 3 Consider Language Equity 3. Sign Languages Students will learn that sign language is a language and the mother tongue of the deaf and to think about what these facts mean. They will also learn the difference between Japanese Sign Language and Signed Japanese (Manually Coded Japanese) and think about its meaning. They will recognize that there have been misunderstandings and prejudices against Japanese Sign Language as a minority language.
	(事前・事後学習)	[予習] Read Chapter 15 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第14回	【授業 内容】	Part 3 Consider Language Equity 4. Language Variation Students will become aware of the differences and similarities between “being able to speak a dialect” and “being able to speak a foreign language”. They will consider how we should be aware of the differences in language use and accents in an age when we live together with foreigners.

	(事前・事後学習) 【授業内容】	[予習] Read Chapter 18 of the textbook. Write answers to Warm-up Exercises in English. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第15回	(事前・事後学習) 【授業内容】	Part 3 Consider Language Equity 5. Tabunka Kyōsei Society and English Students will examine the merits and demerits of English-only culture in Japan. They will learn the concept of World Englishes and English's role as a Lingua Franca and consider what kind of English people should learn.
	(事前・事後学習) 【授業内容】	[予習] Review what has been covered in the lessons in Weeks 1–14. [復習] Write a short essay on what you have learned in the lesson and what ideas and thoughts you have gained from the lesson.
	(事前・事後学習時間)	90分
第16回	(事前・事後学習) 【授業内容】	Final Examination
	(事前・事後学習) 【授業内容】	
	(事前・事後学習時間) 【授業内容】	
評価方法		
Active participation in class activities: 30%		
Assignments: 30% (15% for completion and submission by the due date, 15% for quality)		
Final Exam: 40%		
評価は「富山国際大学評価基準」に従って行う。		
ディプロマポリシー配分比率		

	ディプロマポリシー配分比率
人間性の向上 (DP1)	40%
専門性の向上 (DP2)	20%
社会性の向上 (DP3)	40%

使用資料 <テキスト>

『多文化社会で多様性を考えるワークブック』

有田佳代子 / 志賀玲子 / 渋谷実希 編著 (研究社)

授業外質問方法

The next period after class is suitable. Otherwise, please make an appointment via email (ishiwatari@tuins.ac.jp) etc.

オフィス・アワー

1:00-2:30 pm on Thursdays in Office 425